

伝統受け継ぐ歌舞伎に声援

NEWS&  
10月25日  
TOPICS



284年前には地歌舞伎が行われていた資料が残る東野で歌舞伎公演が行われ、東野歌舞伎保存会と東野小歌舞伎クラブが演目を披露しました。地元団体の役員や教職員ら7人による「お目見得だんまり」もあり、口上や見えに合わせ、客席から声援やおひねりが飛んでいました。

大きなブロッコリーとれたよ

NEWS&  
10月21日  
TOPICS



岩邑小学校の2年生が、農事組合法人富田営農の農地でブロッコリーの収穫体験をしました。児童らは組合員に教えてもらいながら大きな剪定ばさみを使って丁寧に収穫しました。「店で見るとより、ずっと大きい」と興奮気味に話し、うれしそうに抱えて学校に持ち帰りました。

山岡駅を花いっぱい

NEWS&  
11月3日  
TOPICS



リニアまちづくり明知鉄道沿線住民委員会が、山岡駅構内にユリの球根約千個を植栽しました。作業には明知鉄道や市の関係者の他に地元の地域協議会や壮健クラブの役員、中学生など合わせて70人が参加しました。この日植えたユリは、来年7月に見頃を迎える予定です。

小学生が駅伝の雄に学ぶ

NEWS&  
11月2日  
TOPICS



箱根駅伝など数々の大会で輝かしい記録を残し、現在は岐阜経済大学駅伝部監督を務める揖斐祐治さんのマラソン教室が、恵那北小学校で開かれました。総合型スポーツクラブ「飯中笠クラブ」の活動の一環として行われ、恵那北小と中野方小の各5、6年生が参加しました。

自慢のへぼの巣大きさを競う

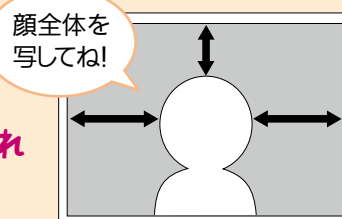
NEWS&  
11月3日  
TOPICS



くしはらへぼまつりが、サンホールくしはらで開催されました。育てたへぼ(クロスズメバチ)の巣の重さを競うコンテストに、こしはら市内外から愛好家118人がエントリー。会場での計量の結果、最も大きな巣は、瑞浪市の太田正さん(写真)が育てた6.15kgでした。

募集中

もうすぐ1歳  
平成27年1月生まれ  
のお子さんを募集



顔全体を写してね!

1月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④性別⑤電話番号⑥両親の氏名⑦28字以内のコメント⑧ケーブルテレビ放映の可否-を添えて、12月9日(火)までに申し込んでください。申し込み多数の場合は先着順で掲載します。

□申し込み・問い合わせ  
〒509-7292(住所不要) 総合政策課広報聴係  
☎26-2111(内線324)

人ともち  
恵那の今を  
お届けします



情報BOX  
えな

天空の里で雨中のミニマラソン

NEWS&  
11月8日  
TOPICS



飯地町で第1回天空の里飯地高原ミニマラソン大会が開かれました。少子高齢化と人口減少が進む同町で、まの魅力を内外に発信するため、初めて開催しました。コースは、飯地高原自然アクト村を発着点に4.5キロと2.3キロの2種類。雨にもかかわらず150人のランナーが参加し、健脚を競いました。

お誕生日  
おめでとう!



1歳になりました  
HAPPY BIRTHDAY  
わが家のBABY 12月生まれ

笑顔にいつも癒やされてるよ♡元気に大きくなってね!

長島町  
中山 夢源くん  
父 正和さん 母 浩世さん

葵、1歳おめでとう!いつも、とびきりの笑顔をありがとう♡

長島町  
大富部 葵ちゃん  
父 朗さん 母 愛さん

祝1歳☆私たちがのどころに生まれてきてくれてありがとう♡

武並町  
林 慶汰くん  
父 哲也さん 母 ゆかりさん

お誕生日おめでとう!いつも素敵な笑顔がありがとう♡

大井町  
斉藤 真樹くん  
父 良成さん 母 みどりさん

1歳おめでとう。兄弟仲良く元気に育ってね。

上矢作町  
飯島 颯月くん  
父 裕樹さん 母 えり子さん

1歳おめでとう♡元気にたくましく育ってね♡

山岡町  
水野 結翔くん  
父 敦さん 母 里美さん

健康ちゃん1歳おめでとう!お兄ちゃんと仲良く元気に育ってね♡

長島町  
曾我 健斗くん  
父 光明さん 母 知美さん

1歳おめでとう!元気で心優しい子になってね♡

大井町  
伊藤 来紗ちゃん  
父 雄太さん 母 ちはるさん



岩村町の有志のグループ「郷土読本編集委員会」が、明治から昭和初期までの地元の歴史をまとめた「いわむら郷土読本総括編」を自費出版した。同委員会代表で編集責任者の西尾精二さんに話を聞いた。

西尾さんは岩村町生まれ。製糸会社を退職後、岩村町商工会の事務局長を経て、いわむら町まちづくり実行委員会の事務局長に就任。何事にもとことんのめり込む持ち前の性格で、岩村のまちおこしに尽力した。

そんな中、岩村町の歴史をまとめた書籍が昭和36年発行の「岩村町史」以降発行されていないことが気に掛かっていた。「郷土の歴史を後世に伝えるために、誰かが歴史の掘り起こしを行わなければいけない」と一念発起した西尾さんは、有志の仲間と共に掘り起こし委員会を結成。主執筆者となり、「城下町ホットいわむら」の印刷代助成を受けて、平成20年に初巻「歴史掘り起こし読本」を発行した。23年に第二巻、24年には第三巻を発行。ここで委員会としての発行はいったん終了した。

学ぼう伝えよう  
輝く  
恵那人  
134

掘り起こせ岩村の歴史  
「いわむら郷土読本総括編」を自費出版

□プロフィール  
昭和2年生まれ。製糸会社の工場長を長年務め、退職後は岩村町商工会の事務局長などに就任し、郷土のまちおこしに奔走する。



恵那で輝いている旬な人を紹介します

岩村町西町  
にしお せいじ  
西尾 精二 さん 88歳



しかし創作意欲は冷めやらず、一人でも調査と執筆を続けた。75歳から習い始めたパソコン操作の腕を振るい、キーボードをたたきながらの執筆作業。途中、孤独感やくじけそうになる気持ちもあったが、岩村の先人佐藤一斎の「老いて学べば則ち死して朽ちず」という三学の精神を思い出し、自身を奮い立たせた。1年半ほど前にかつての編集メンバーに相談し、四冊目の発行が実現することに。郷土読本編集委員会として再び結成された仲間の存在が、大きな力となった。約3年をかけた力作の最終章を書き終えたのは、くしくも88歳の誕生日を迎えた時だった。

「82歳で『言志叢録』を書いた佐藤一斎先生の三学の精神を、自分なりに形にできたのではないかと話します。西尾さんの生き様さえもにじみ出たこの本は、歴史の重みとぬくもりが詰まっている。」



▲完成した「いわむら郷土読本総括編」

地域のぬくもりを園児に

NEWS&  
11月10日  
TOPICS



この春完成した中野方こども園で、まきストーブが初めてたかれました。同園は地域の特色を生かすため、地元の要望を受け遊戯室にまきストーブを設置。地元の間伐材利用を通して地域住民と触れ合い、子どもたちに山や自然に関することと火のぬくもりを伝えていきます。

戦没者を悼み恒久平和を祈る

NEWS&  
11月7日  
TOPICS



戦後70周年記念戦没者追悼式が恵那文化センターで行われました。先の大戦から70年の節目に当たり、市戦没者遺族連合会が主体に企画。市町村合併後初めての合同追悼式に650人が参列しました。参列者は全員で献花し、犠牲者を悼み、平和への誓いを新たにしました。

遠山さん市川さんに県知事賞

NEWS&  
11月11日  
TOPICS



第23回県老人クラブ作品コンクールで、県知事賞に当たる優秀第1席を受賞した遠山千代さん（写真左から2人目）と市川純慧さん（同右から2人目）が、市長へ報告に訪れました。遠山さんは日本画の部、市川さんは書の部に展覧。見事、優秀第1席を受賞しました。

小林さん「森の名手・名人」に

NEWS&  
11月11日  
TOPICS



森林の保全や活用に貢献したとして、国土緑化推進機構が表彰する「森の名手・名人」に、東野の木地師、小林一雄さんが認定されました。木地師として40年以上木工に携わる小林さんに可知市長は「伝統工芸をしっかり守っていただき、恵那の誇りです」とたたえました。

明知鉄道が開業30周年

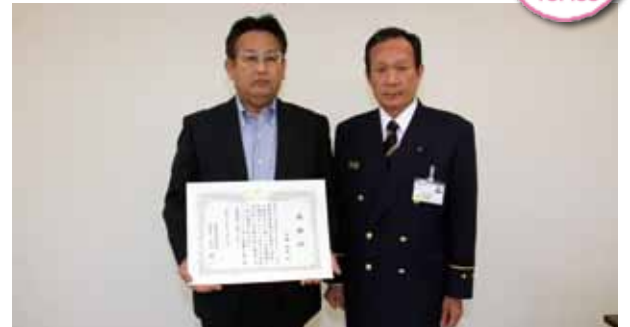
NEWS&  
11月14日  
TOPICS



昭和60年に第3セクターとして運営を開始した明知鉄道が30周年を迎え、明智文化センターで記念式典が行われました。式典では運営を支援してきた住民団体や高校生らに感謝状が贈られました。式典終了後は、記念講演やSLの車庫見学会と構内走行も行われました。

延焼防いだ伊藤さんに感謝状

NEWS&  
11月12日  
TOPICS



10月に武並町で発生した建物火災の際に、迅速で的確な消火活動により燃え広がりを防いだとして、同町在住の伊藤雅典さんへ消防長から感謝状が贈られました。元消防団員の知識と経験を生かした行動に、消防長は「現役消防団員のかがみ」とたたえました。